

分かる！快感！

かい  
**Z会ナビ**

算数

理科

社会

お題

かわいいヤマメには  
たび  
旅をさせよ「Z会ナビ」が  
Webサイト  
でも読めます!

Z会おとナビ新聞 検索

これまでの内容も掲載しています!

サケの仲間のヤマメは、川にすむ魚です。ヤマメの子どもが川から海に移動すると、どうなるでしょうか。

- ① 親と同じヤマメになる。
- ② 大きなサケになる。
- ③ そのまま死んでしまう。

### ヤマメは川の魚

11月11日はサケの日です。「鮭」という漢字のつくりの「圭」をバラバラにすると「十一十一」になるので、11月11日なのですね。サケがおいしい季節でもあります。

さて、サケといえば川で生まれて、海に移動して成長し、生まれた川に戻って産卵する、という一生を送ることで有名ですよね。ところが、サケの仲間であるヤマメは、海に移動することなく、一生を過ごす魚です。海に移動するサケと比べると、からだも小さく、体長20センチほどにしかありません。このヤマメの子どもが、ほかのサケと同じように海に移動するとどうなるのでしょうか。

### ヤマメとサクラマスの関係

サケの一種にサクラマスという魚がいます(ちなみに、サケとマスには、はっきりとした区別はありません)。サクラマスは、川で生まれ、海で成長し、川に戻って産卵する、体長60センチほどにもなるサケです。そんな小さなヤマメと大きなサクラマスですが、ヤマメとサクラマスの間に、子どもが生まれることがあります。この子どもは、海に移動してサクラマスになるものと、



イラスト・瑞木匠

## 川では20センチ

川に残ってヤマメになるものに分かれます。普通、別の種の生き物の間には、子どもは生まれません。ではなぜ、ヤマメとサクラマスでは、このようなことが起こるのでしょうか。

勘のいい方はお気づきでしょうか。実は、ヤマメとサクラマスは、育った環境が違うだけで、同じ種の魚なのです。

ヤマメの子どもも、サクラマスの子どもも、ヤマメとサクラマスの間に生まれた子どもも、生まれたばかりのときには、まだどちらになるか決まっていません。サクラマスの子どもでも、川に残れば小さなヤマメになり、ヤマメの子どもでも、海に移動すれば、大きなサケ(サクラマス)になります(問題の答えは②)。海に旅立っていった

兄弟姉妹に久しぶりに会うと、自分の何倍も大きくなっているなんて、ヤマメも驚くことでしょう。ただし、海に移動したヤマメやサクラマスの子どもが、大きく成長して元の川に戻れるのは、ほんのわずかな確率です。多くは、海でほかの魚に食べられるなどして死んでしまいます。そうした意味では、③も間違いとはいえませんが。

### ヤマメとサクラマスを分けるもの

ヤマメになるか、サクラマスになるかを分けるのは、一体何でしょうか。

川で一緒に生まれたヤマメやサクラマスの子どもたちの中でも、強く大きい魚と、弱く小さい魚が出てきます。そして、小さい魚は、大きい魚に追いやられて、だんだん川を移動していきます。その時、からだを大きくする「成長ホルモン」がつくられるようになります。さらに、川よりも餌の豊富な海で、たくさん餌を食べて成長し、最終的には、元々川で強く大きかったヤマメの何倍も大きく成長するのです。弱く小さかった方が、逆転して大きく成長するなんて、面白いですね。(Z会・鳥越賢)

### ！今回の教訓

子どもの頃は小さくても、たくさん食べて、たくさん動いて、たくさん学べば、大きく成長できます。



鳥越賢さん 2010年Z会入社。小学生向けの理科の教材編集を担当。生き物が大好きで、妻と2人の娘とたくさんの生き物に囲まれて暮らす。山口生まれ広島育ち。